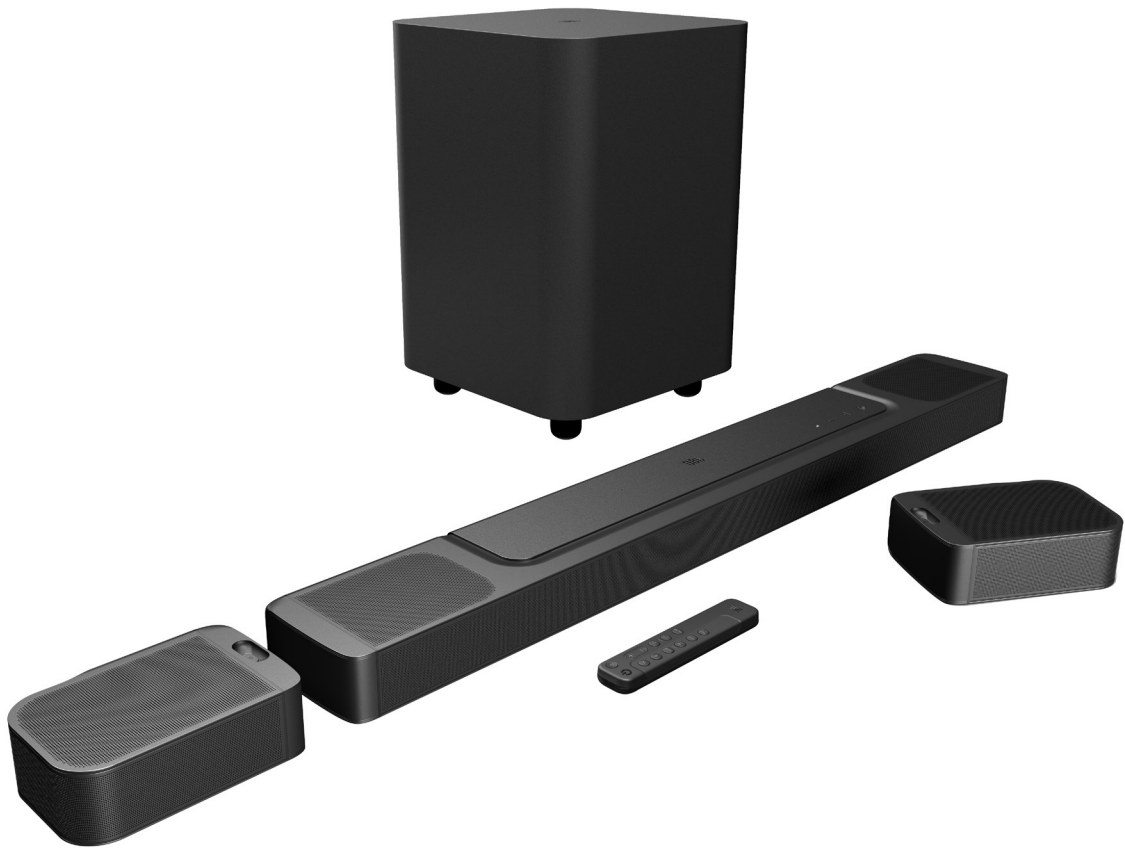




BAR 1000



取扱説明書

重要な安全上の注意

使用前に電源電圧を確認する

JBL Bar 1000（サウンドバー、脱着式スピーカーおよびサブウーファー）は100-240ボルト、50/60HzのAC電流で使用できるように設計されています。本製品が対応していない電源電圧に接続すると、安全上の問題および火災の危険があり、本機に損傷を与える可能性があります。特定のモデルの電圧の必要性、またはお住まいの地域の電源電圧についてご質問がありましたら、壁のコンセントに本機をつなぐ前に販売店またはカスタマーサービスにご連絡ください。

延長コードは使用しないこと

危険を回避するため、本機に付属した電源コード以外は使用しないでください。本製品に延長コードを使用することはお勧めできません。全ての電気器具と同様、電源コードをじゅうたんまたはカーペットの下に通したり、上に重いものを置かないでください。破損した電源コードが同梱されていた場合は、認定サービスセンターがただちに工場の仕様に適合したものにお取替えます。

AC電源コードは丁寧に扱う

ACコンセントから電源コードを外す時は、常にプラグを持つようにしてください。絶対にコードを引っ張らないでください。長期間このスピーカーを使用するつもりがない場合、ACコンセントからプラグを外してください。

本体を分解しない

本製品内にはお客様が修理できる箇所はありません。本体を開けると感電する可能性があり、製品に何らかの改造を行うと、お持ちの保証書が無効になります。水が誤って本機内に入った場合、ただちにAC電源から本体を取り外し、認定サービスセンターにご相談ください。

目次

重要な安全上の注意	2	8. サウンドの設定	22
1. はじめに	4	8.1 オーディオシンク	22
2. 同梱品	5	8.2 スマートモード	22
3. 製品の概要	6	8.3 PUREVOICEダイアログエンハンスメントテクノロジー	22
3.1 サウンドバー	6	9. 工場出荷時設定への復元	22
3.2 脱着式スピーカー	6	10. ソフトウェアのアップデート	23
3.3 サブウーファー	7	11. サブウーファーの再接続	24
3.4 リモコン	7	12. 製品の仕様	24
4. 設置方法	8	13. トラブルシューティング	25
4.1 台への設置	8	14. 商標	27
4.2 壁に取り付ける	9	15. オープンソースのライセンスに関する注意	28
5. 接続	10		
5.1 TVおよびデジタルデバイスとの接続	10		
5.2 BLUETOOTH接続	12		
5.3 ホームネットワークとの接続	12		
6. 設定	13		
6.1 脱着式リアスピーカーとサブウーファーを接続する	13		
6.2 脱着式スピーカーの充電	14		
6.3 3Dサラウンドサウンド	14		
7. 再生	17		
7.1 電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ	17		
7.2 TVソースからの再生	17		
7.3 HDMI INソースからの再生	18		
7.4 BLUETOOTHソースからの再生	18		
7.5 JBL ONEアプリを通した再生	18		
7.6 CHROMECAST BUILT-INを通した再生	19		
7.7 AIRPLAYを通した再生	20		
7.8 AMAZON MUSICを通した再生	20		
7.9 マルチルーム再生	21		

1. はじめに

JBL Bar 1000(サウンドバー、脱着式スピーカーおよびサブウーファ)をお買い上げいただき、ありがとうございます。本製品は、究極の3Dサウンドを生み出すように設計された、ホームエンターテインメントシステムです。少々お時間を割いて、この取扱説明書に目を通されることをお勧めします。この取扱説明書では製品に関する説明と使用開始するまでの各手順をひとつひとつ説明しています。

製品の機能とサポートをフル活用するには、インターネットまたはUSB端子で製品のソフトウェアをアップデートする必要があります。この取扱説明書のソフトウェアアップデートセクションを参照して製品のソフトウェアが最新バージョンになっていることをお確かめください。

設計と仕様は予告なしに変更されることがあります。サウンドバーと設置または操作について何かご質問がありましたら、販売店またはカスタマーサービスにご連絡いただくか、または当社のウェブサイト、www.jbl.comをご覧ください。

JBL Oneアプリ

JBL Oneアプリで、お客様は次のことができます

- 簡単かつ完璧な製品の設定。
- *音楽ストリーミングサービスに接続。
- 統合型の音楽配信サービスで新しい音楽を探す。
- プリセットされたプレイリストとスピーカー設定にボタン一つでアクセス。
- 利用可能な場合は、ソフトウェアアップデートへのアクセス。



詳細については、「[5.3 ホームネットワークとの接続](#)」と「[7.5 JBL Oneアプリを通じた再生](#)」をお読みください。

注:

- *サブスクリプションが必要な場合があります、JBL Oneアプリではこのサービスは提供していません。

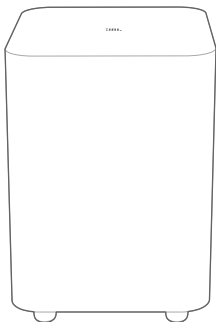
2. 同梱品

注意して箱を開封し、以下の物が同梱されていることをお確かめください。いずれかが破損している、または見当たらない場合は、小売店またはカスタマーサービスにご連絡ください。

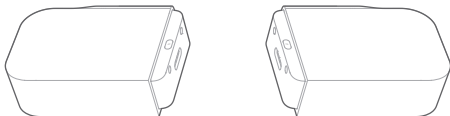
サウンドバー



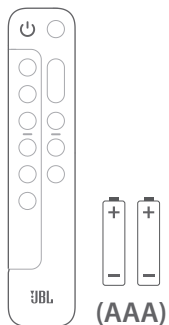
サブウーファー



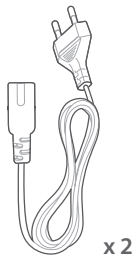
脱着式スピーカー (充電式バッテリー内蔵)



リモコン (単4乾電池2本付属)



電源コード*



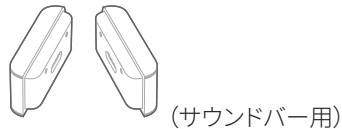
x 2

*電源コードの本数とプラグタイプは地域によって異なります。

HDMIケーブル (1.2m)



サイドキャップ

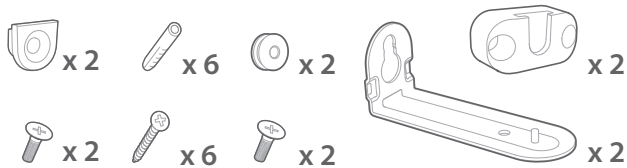


(サウンドバー用)



(脱着式スピーカー用)

壁取り付け用キット



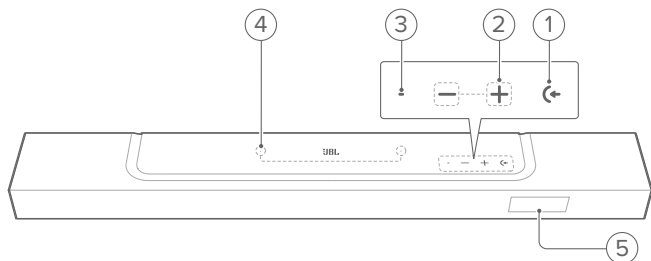
製品情報&壁取り付け用型紙



3. 製品の概要

3.1 サウンドバー

3.1.1 操作



1) (←) (入力ソース)

- 電源オン
- 入力音源を選択してください:TV(デフォルト、TV接続からオーディオ入力する場合は**HDMI OUT (TV ARC/TV eARC)**端子が**OPTICAL**端子より優先)、BluetoothまたはHDMI IN

2) -/+ (音量)

- 電源オン
- 音量の増減
- 押し続けると音量が増減していきます。
- 2つのボタンを同時に押してミュートまたはミュート状態を解除します

3) ステータスインジケーター

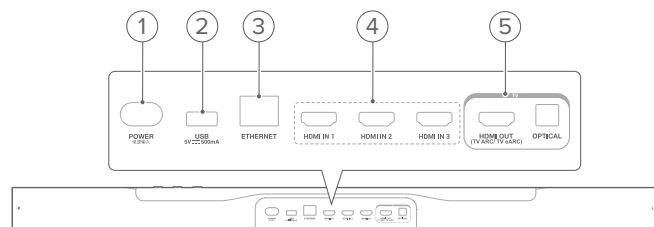
システム:		
☉	定期的に点滅(白色)	システムの起動
☼	素早く点滅(白色)	ソフトウェアのアップデートが進行中
●	点灯(橙色)	工場出荷時の設定への復元
ネットワーク接続:		
☐	ゆっくり明滅(白色)	Wi-Fi設定モードに入っているか、ネットワークに未接続
●	点灯(緑色)	JBL Oneアプリがサウンドバーを見つけた
○	点灯(白色)	ネットワークに接続済み
●	点灯(黄色)	微弱なWi-Fi接続

4) マイク

- サウンドキャリブレーション用

5) ステータス表示

3.1.2 背面接続端子



1) POWER

- 電源に接続します(付属の電源コードを使う)

2) USB

- ソフトウェアアップデート用USB端子
- MP3ファイルを再生するためにUSBストレージデバイスに接続(米国モデルのみ)

3) ETHERNET

- イーサネットケーブルでホームネットワークに接続します

4) HDMI IN (1/2/3)

- デジタルデバイスのHDMI出力に接続します

5) TV端子

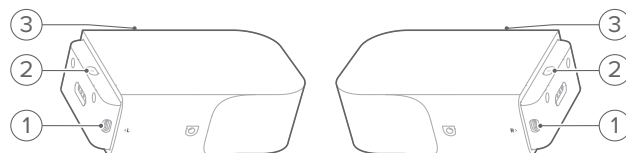
HDMI OUT (TV ARC/TV eARC)

- TVのHDMI ARC / HDMI eARC端子に接続

OPTICAL

- TVまたはデジタルデバイスの光デジタル出力と接続します

3.2 脱着式スピーカー



1) Type-C USB端子

- バッテリー充電用

2) (電源)

- 押して電源を入れます
- 3秒以上長押しすると電源が切れます

3) ステータスインジケーター

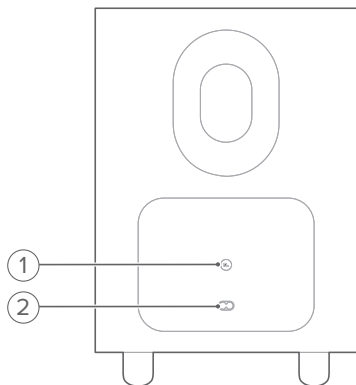
- バッテリー電力用

☼	点滅(赤色)	バッテリー残量少
●	点灯(赤色)	バッテリー充電が進行中

- ワイヤレス接続のステータス用

☐	ゆっくり点滅(白色)	サウンドバーからの接続を解除
☼	素早く点滅(白色)	サウンドバーに接続中
○	点灯(白色)	サウンドバーに接続済み

3.3 サブウーファー



1)

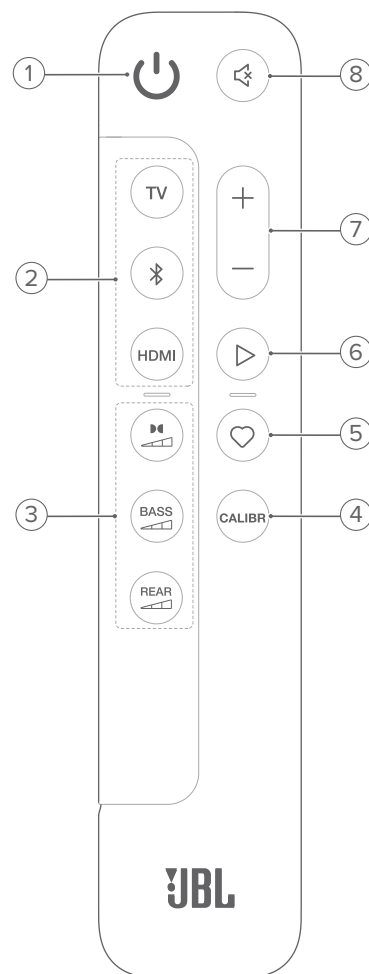
- 接続状態のインジケータ

○ 点灯 (白色)	サウンドバーに接続済み
☀ 素早く点滅 (白色)	ペアリングモード
◻ ゆっくり点滅 (白色)	再接続中、または現在のペアリングモードを終了
● 点灯 (橙色)	スタンバイモード

2) 電源 コネクタ

- 電源に接続します (付属の電源コードを使う)

3.4 リモコン



1)

- 電源をオンまたはスタンバイ状態にする

2) 入力切換

TV

- TVを入力ソースとして選択します (デフォルト、TV接続からオーディオ入力を行う場合はHDMI OUT (TV ARC/TV eARC) 端子がOPTICAL端子より優先)

📶 (Bluetooth)

- Bluetoothソースを選択します
- 長押ししてBluetooth対応デバイスに接続します

HDMI

- HDMI INソースのスイッチを繰り返し押す: HDMI 1 (デフォルト)/2/3

3) サウンドエフェクトボタン



- ドルビーアトモス (Dolby Atmos) /DTS:Xエフェクトのレベルを選択: 中 (デフォルト)、高または低

BASS



- サブウーファーの低音レベルを選択します: 1/2/3 (デフォルト)/4/5

REAR

(脱着式リアスピーカーが両方ともサウンドバーから取り外してある場合に使用可能)

- リアスピーカーのサラウンドサウンドレベルを選択: 中 (デフォルト)、高、ミュートまたは低

4) CALIBR

- 押すと、サウンドキャリブレーションを開始します

5) ♥ (Moment)

- 押すと、プレイリスト、またはJBL Oneアプリでカスタマイズしたスピーカー設定にダイレクトでアクセスします

6) ▷ (JBL Oneアプリ、Chromecast built-in™、AirPlay、AlexaまたはBluetoothでの音楽ストリーミング中の再生の操作)

- 1回押す: 再生の一時停止、または再開
- 2回押す: 次のトラック
- 3回押す: 前のトラック

7) +/-

- 音量を増減します
- 長押しすると、連続的に増減します

8) 🚫 (ミュート)

- ミュート/ミュート解除

3.4.1 アプリが対応している操作

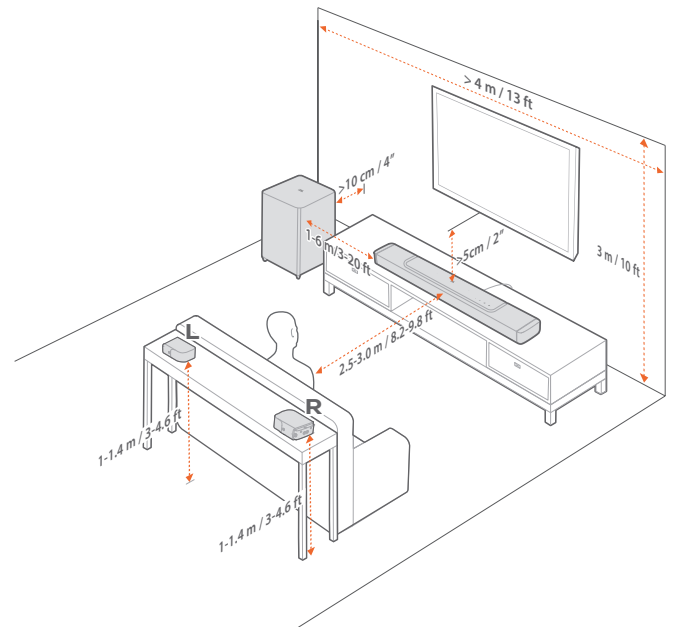
AndroidおよびiOSデバイスでJBL Oneアプリを使うと、次の操作が可能です:

- Wi-Fi設定。
- オーディオキャリブレーション&デモ。
- オーディオ設定のカスタマイズ。
- デバイスの管理と操作。
- 音楽配信サービスの統合。
- 追加機能。

4. 設置方法

4.1 台への設置

水平で安定した台の上にサウンドバー、脱着式スピーカーとサブウーファーを設置します。以下の図の推奨距離を参照してください。



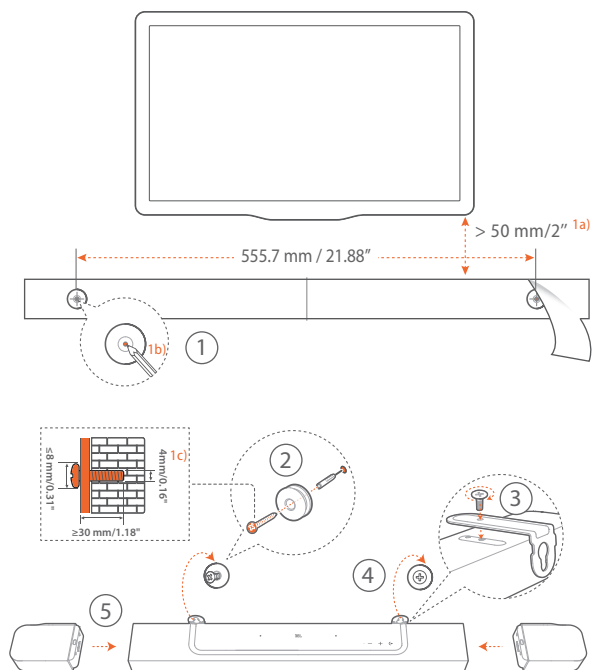
注:

- 電源コードを正しく電源に接続してください。
- サウンドバー、脱着式スピーカーまたはサブウーファーの上には何も置かないでください。
- 十分なバッテリー出力を確保するため、時間内に脱着式スピーカーを充電してください(「6.2 脱着式スピーカーの充電」をお読みください)。
- リアサウンドスピーカーを取り外した後、付属のサイドキャップを使ってサウンドバーの両端をカバーしてください。(「4.2.2 脱着式スピーカーをリアサラウンドスピーカーとして壁に取り付ける」のステップ5をお読みください)。

4.2 壁に取り付ける

サウンドバーと脱着式リアスピーカーを一緒に、または別々に壁に掛けてください。

4.2.1 サウンドバーの壁への取り付け

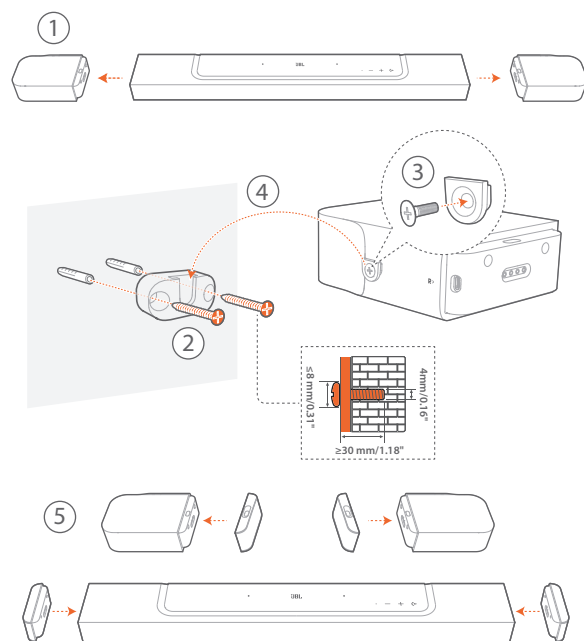


- 準備:
 - TVから約50mm離して、付属の壁取り付け用型紙をテープで壁に貼り付けてください。
 - ペンなどでねじ穴の位置に印を付けてください。その後、型紙を取り外してください。
 - 印を付けた壁に4mmの穴を開けてください。
- 壁に取り付け金具の受けねじを取り付けます。
- 金具をサウンドバーの底部にねじで固定します。
- サウンドバーを壁に取り付けます。
- サウンドバーをしっかりと壁に取り付けた後、2台の脱着式スピーカーをサウンドバーにドッキングさせます。

注:

- 事前に壁がサウンドバーの重量に耐えられることを確認してください。
- 垂直の壁以外には取り付けないでください。
- 高温、または高湿度状態で設置しないでください。
- 壁に取り付ける前に、サウンドバーと外部デバイス間のケーブルが全て正しく接続されていることを確認してください。
- 壁への取り付け前に、サウンドバーの電源が入っていないことを確認してください。電源が入っていると、感電の原因となることがあります。
- サウンドバーを移動するには、事故による破損を防ぐために、最初に2台の脱着式スピーカーを取り外してください。
- リアサウンドスピーカーを取り外した後、付属のサイドキャップを使ってサウンドバーの両端をカバーしてください。(「4.2.2 脱着式スピーカーをリアサラウンドスピーカーとして壁に取り付ける」のステップ5をお読みください)。

4.2.2 脱着式スピーカーをリアサラウンドスピーカーとして壁に取り付ける



- サウンドバーから2台の脱着式スピーカーを取り外します。
- 壁取り付け用金具を取り付けます。
- スピーカーの背面の受けねじを締めます。
- スピーカーを壁に取り付けます。
- 必要に応じてサイドキャップを取り付けます。

5. 接続

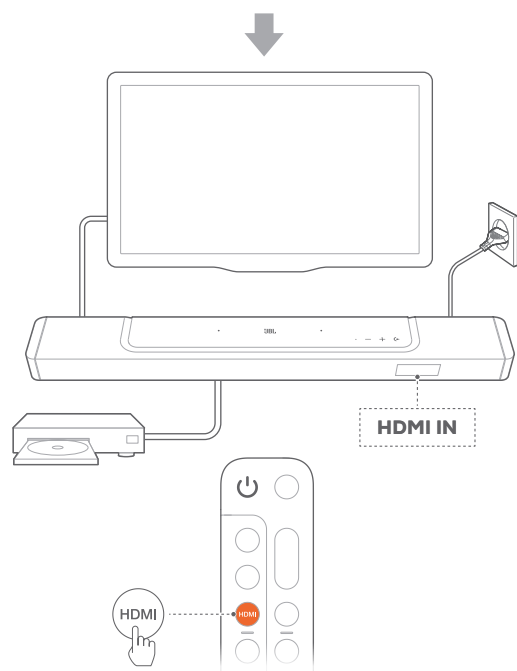
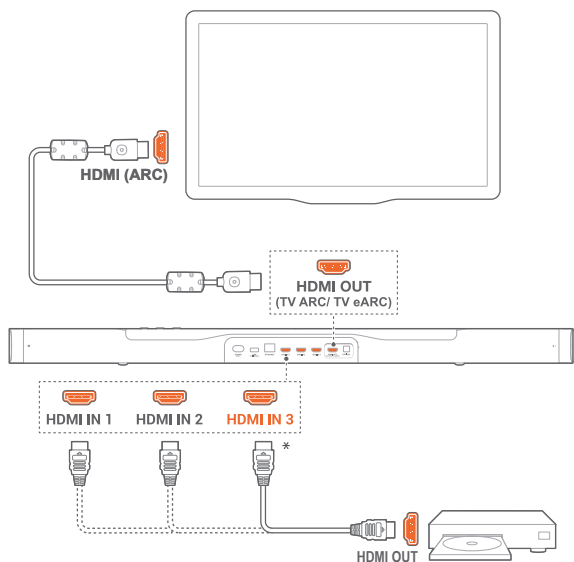
5.1 TVおよびデジタルデバイスとの接続

サウンドバーでオーディオ再生を行うには、付属のHDMIケーブル、または光デジタルケーブル(別売)を使って、サウンドバーをTVに接続してください。

HDMI接続は、ケーブル1本の接続によりオーディオと動画の両方を出力できます。このサウンドバーの接続にはHDMIを推奨します。

5.1.1 TV (HDMI ARC/eARC)

(ドルビーアトモス/DTS:Xを最大限に満喫するための推奨接続)

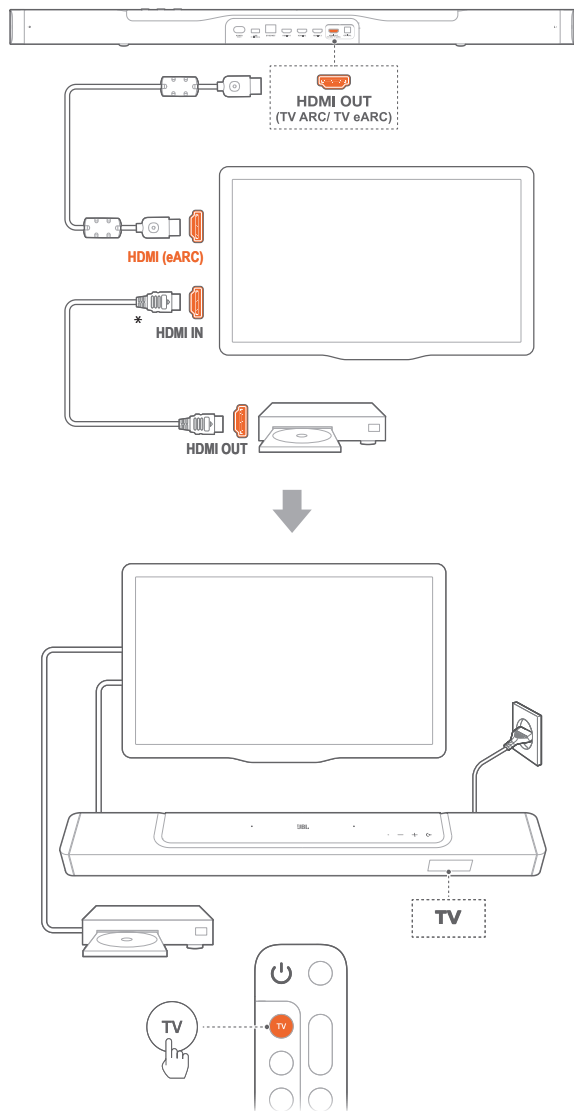


1. 付属のHDMIケーブルを使って、TVのHDMI IN (ARC/eARC) 端子をサウンドバーに接続します。
 - TVがHDMI-CECとHDMI ARC/eARCに対応しているかどうかを確認します。詳細についてはTVの取扱説明書を参照してください。
2. HDMIケーブル (V2.0以降) 1本で、セットトップボックス、DVD/Blu-rayプレーヤーまたはゲーム機などのデジタルデバイスとサウンドバーを接続してください。
 - デジタルデバイスがHDMI-CECに対応していることを確認してください。詳細については各デジタルデバイスの取扱説明書を参照してください。
 - デジタルデバイスで、ドルビーアトモスを最大限に満喫するためオーディオ出力設定の「ビットストリーム」または「オリジナルデータ」を選択してください。
3. サウンドバーに接続されたデジタルデバイスからオーディオを再生するには、リモコンの**HDMI**を繰り返し押し、HDMIソースを選択します。

注:

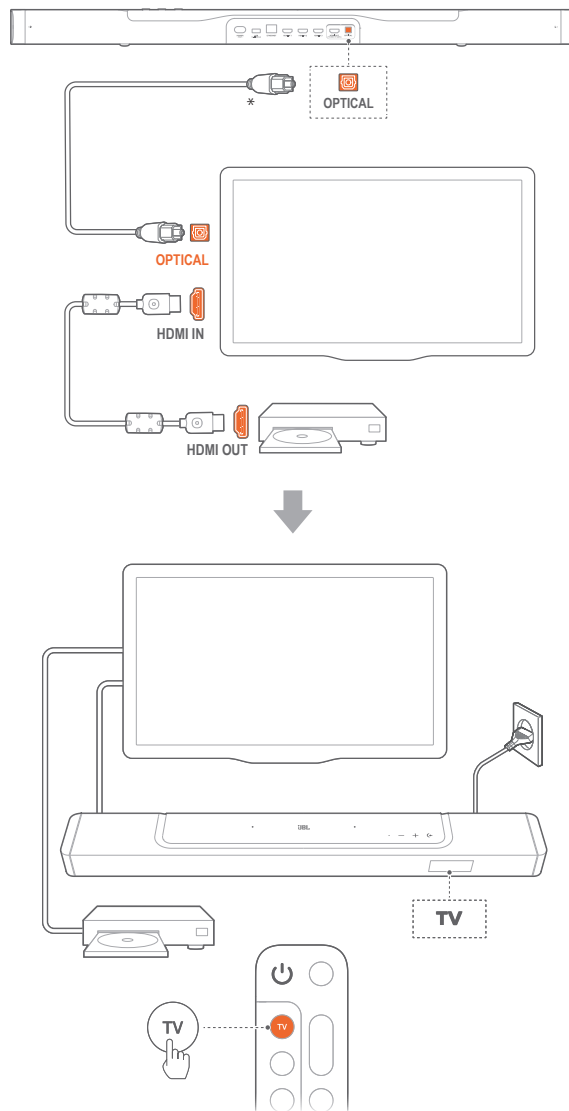
- TVがHDMI eARCに対応していない場合、TVの代わりにサウンドバーのHDMI IN端子を通してデジタルデバイスに接続していることを確認してください。そのように接続しないと、ドルビーアトモス情報をHDMI (ARC) 端子を通してTVからサウンドバーに送ることができません。

5.1.2 TV (HDMI eARC)



1. 付属のHDMIケーブルを使って、TVのHDMI IN (eARC) 端子をサウンドバーに接続します。
 - TVがHDMI-CECとHDMI ARC/eARCに対応しているかどうかを確認します。詳細についてはTVの取扱説明書を参照してください。
2. HDMIケーブル (eARCに対応、V2.0以降) を使用して、ストリーミングデバイス、セットトップボックス、DVD/Blu-rayプレーヤーまたはゲーム機などのデジタルデバイスとTVを接続してください。
 - デジタルデバイスがHDMI-CECに対応していることを確認してください。詳細については各デジタルデバイスの取扱説明書を参照してください。
 - TVとデジタルデバイスで、ドルビーアトモスを最大限に満喫するためオーディオ出力設定の「ビットストリーム」または「オリジナルデータ」を選択してください。
3. TVに接続されたデジタルデバイスからオーディオを再生するには、リモコンの**TV**を選択します。

5.1.3 光デジタル端子



注:

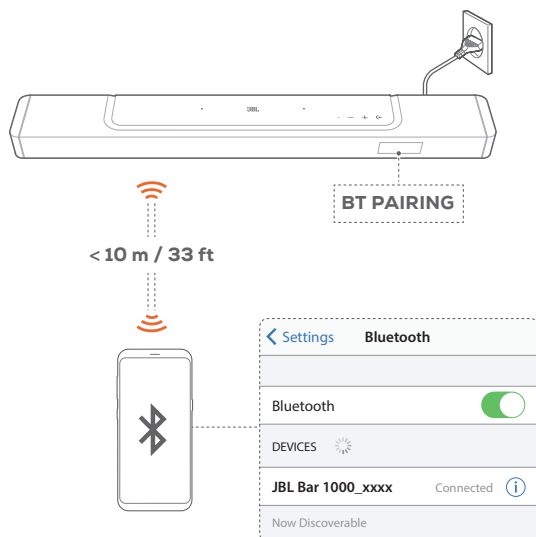
- 4つのアップファイアリングスピーカーと脱着式サラウンドスピーカー設計により、このサウンドバーのドルビーサラウンドアップミキサーは5.1および7.1コンテンツを含むドルビーデジタルフォーマットのレガシーチャンネルベースのオーディオを拡張することができ、臨場感のある3Dアトモス体験を実現します。
1. 光デジタルケーブルを使って、サウンドバーをTVに接続してください。
 2. HDMIケーブル (V2.0以降) を使用して、ストリーミングデバイス、セットトップボックス、DVD/Blu-rayプレーヤーまたはゲーム機などのデジタルデバイスとTVを接続してください。
 3. 光デジタル端子ケーブルを通してオーディオを再生するにはリモコンの**TV**を選択します。

注:

- *HDMIケーブル(デジタルデバイス接続用)および光デジタルケーブルは別売です。
- HDMI-CECデバイスへの完全対応は保証できません。
- サウンドバーとTVがHDMI ARCと光デジタルケーブルの両方接続されている場合は、HDMI ARC接続が優先されます。

5.2 Bluetooth接続

Bluetoothで、スマートフォン、タブレット、ノートPCといったBluetooth対応デバイスにサウンドバーを接続してください。



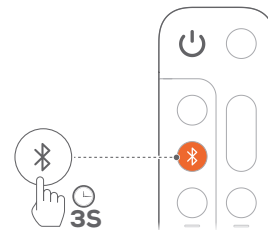
5.2.1 Bluetooth対応デバイスへの接続

1. Bluetoothソースを選択するには、サウンドバーの 、またはリモコンの ボタンを押します。
→ 「BT PAIRING」:BTペアリングの準備完了
2. Bluetooth対応デバイスの方では、Bluetoothが有効になり、3分以内に「JBL Bar 1000_xxxx」の検索を開始します。
→ 正しく接続されました:デバイスの名称が英語の場合は、英語で表示されます。確認音が鳴ります。

5.2.2 最後にペアリングしたデバイスを再接続するには

本機はスタンバイモード時もペアリングしたBluetooth対応デバイスを記憶しています。次回にBluetoothソースに切り換えた際、サウンドバーが自動的に最後にペアリングしたデバイスとの再接続を行います。

5.2.3 別のBluetooth対応デバイスに接続するには



1. Bluetoothソースで「BT PAIRING」が表示されるまで、サウンドバーの 、またはリモコンの ボタンを長押しします。
→ サウンドバーがBluetoothペアリングモードに入ります。
2. 「5.2.1 Bluetooth対応デバイスへの接続」のステップ2に従ってください。
 - デバイスがサウンドバーとペアリングされていた場合は、まずデバイスの「JBL Bar 1000_xxxx」のペアリングを解除してください。

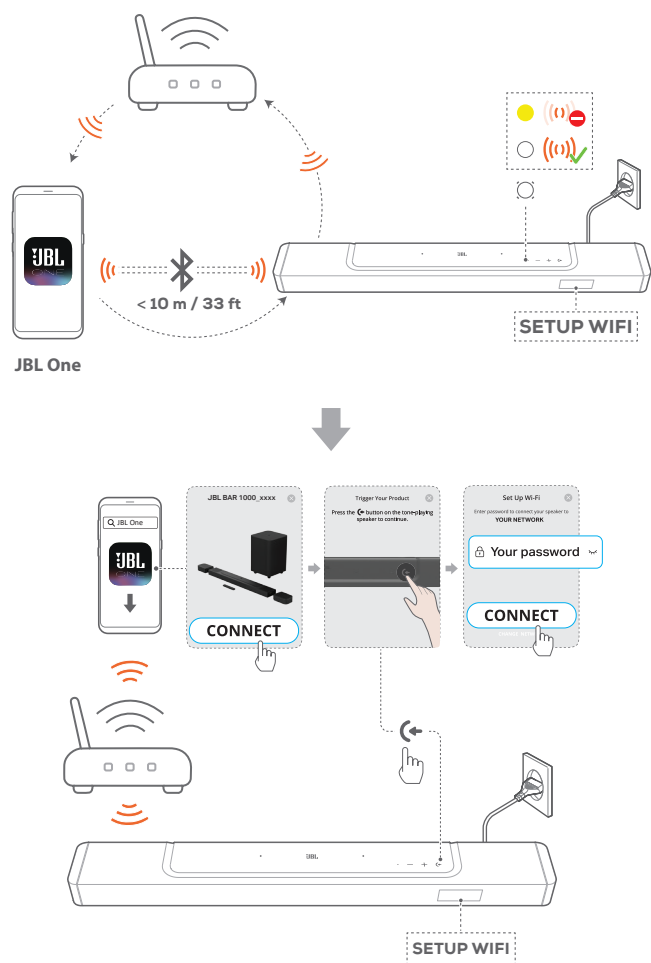
注:

- Bluetooth接続は、サウンドバーとBluetooth対応デバイスの距離が10mを超えている場合、接続が切れてしまいます。
- 周辺に電子機器があると、電波が干渉を受けることがあります。電子レンジ、ワイヤレスLAN機器などの電磁波を出すデバイスはサウンドバーから離してお使いください。

5.3 ホームネットワークとの接続

Wi-Fi、またはEthernetケーブルを通してサウンドバーをホームネットワークに接続してください。JBL Oneアプリと対応するストリーミングデバイス(Chromecast built-in、AirPlay、Alexa)により、このサウンドバーはサウンドバースピーカーを通して、スマートフォンまたはタブレットからオーディオをストリーミングすることが可能です。

1. サウンドバーでWi-Fi設定モードに入ってください。
 - いずれかのボタンを押すと電源が入ります(7.1 電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ)をお読みください。
→ サウンドバーがネットワークに接続されていない場合は、画面に「HELLO」、次に「SETUP WIFI」と表示されます。
 - 再度Wi-Fi設定モードに入るには、「SETUP WIFI」と表示されるまで と ボタンを長押ししてください。
2. AndroidまたはiOSデバイスで、JBL Oneアプリを通してサウンドバーをWi-Fiホームネットワークに追加してください。
 - a) AndroidまたはiOSデバイスをWi-Fiホームネットワークに接続してください。JBL Oneアプリをダウンロードしてください。
 - b) アプリの指示に従って設定を完了してください。



3. 必要があれば、Ethernetケーブルを使用してサウンドバーをホームネットワークに接続してください。

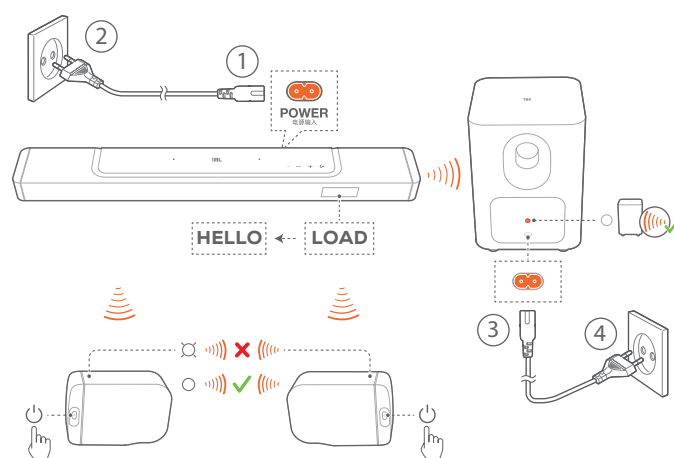
- 設定時と同一のネットワークに接続されていることを確認してください。

注:

- AndroidまたはiOSデバイスでは、JBL Oneアプリでサウンドバーに名前を付けることができます。
- iOSデバイスで、Apple Homeアプリにサウンドバーを追加し、その他のAirPlay 2対応スピーカーと一緒に管理することができます。
- iOSデバイスで、サウンドバーがWi-Fiホームネットワークに追加されている場合、AirPlay対応アプリからAirPlayストリーミングを開始することができます(「7.7 AirPlayを通じた再生」をお読みください)。
- オンラインの音楽ストリーミングサービスが利用できるかどうかは国によって異なります。
- 特定の機能を使用するには、一部の国では利用できない定額利用契約、またはサービスが必要です。

6. 設定

6.1 脱着式リアスピーカーとサブウーファーを接続する



1. 付属の電源コードを使って、サウンドバーを電源に接続してください。
→ サウンドバーの画面に「LOAD」、そして次に「HELLO」と表示されます。
2. 接続を開始するには、以下の操作を行います：
 - 付属の電源コードを使って、サブウーファーを電源に接続します。
 - 脱着式スピーカーをサウンドバーにドッキングさせるか、脱着式スピーカーの ボタンを押してサウンドバーに素早く再接続します。
→ 自動的にサウンドバーがサブウーファーに接続されます。
接続済み: がサブウーファー上で白色で点灯します。
 - 自動的にサウンドバーが脱着式スピーカーに接続されます。
接続済み: 脱着式スピーカーのステータスインジケータが白色で点灯 (○) します。

注:

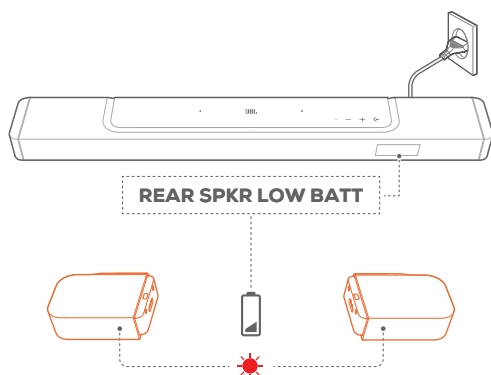
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- 電源への接続前に、他の接続がすべて完了していることを確認してください(「5.1 TVおよびデジタルデバイスとの接続」をお読みください)。

6.2 脱着式スピーカーの充電

脱着式サラウンドスピーカーの充電が切れると、サウンドバーとのワイヤレス接続も切れます。

初めて2台の脱着式スピーカーを使用する場合は、十分なバッテリー出力を確保できるように、3時間以上充電します。

- バッテリー出力が低で作動している場合、脱着式サラウンドスピーカーのステータスインジケータが赤色で点滅し、サウンドバーに「REAR SPKR LOW BATT」と表示されます。
- バッテリー出力が切れた場合は、サウンドバーに「DOCK REAR SPKR」と表示されます。



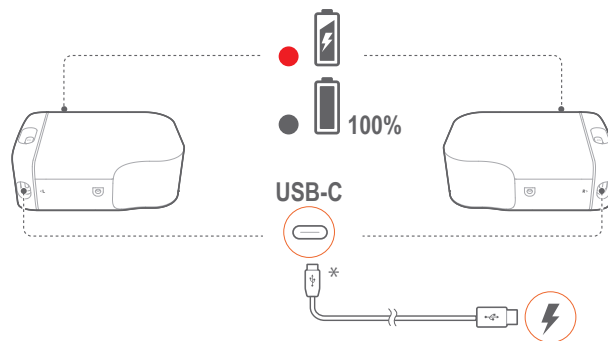
6.2.1 脱着式スピーカーのドッキングによる充電

脱着式スピーカーをサウンドバーにドッキングさせると、充電を開始します。

- サウンドバーがスタンバイモードに切り替わると、●が点灯します。脱着式スピーカーがフル充電されると、●が消灯します。
- 空のバッテリーをフル充電するには、約3.5時間かかります。



6.2.2 USBケーブルを通した充電



- USB-Cケーブルを使って脱着式スピーカーをそれぞれ電源に接続します。
- 脱着式スピーカーでは、ステータスインジケータは両方のスピーカーのバッテリー出力とワイヤレス接続のステータスを示すために使用されます（「3.2 脱着式スピーカー」をお読みください）。

注：

- *USB-Cケーブルは別売りです。

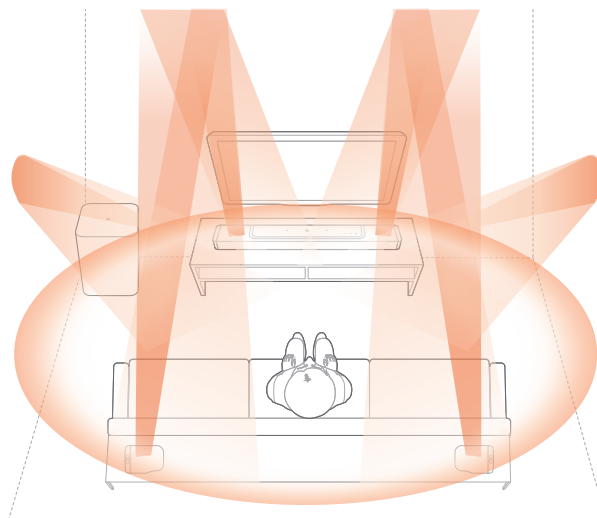
6.3 3Dサラウンドサウンド

6.3.1 サウンドのキャリブレーション(音場測定)

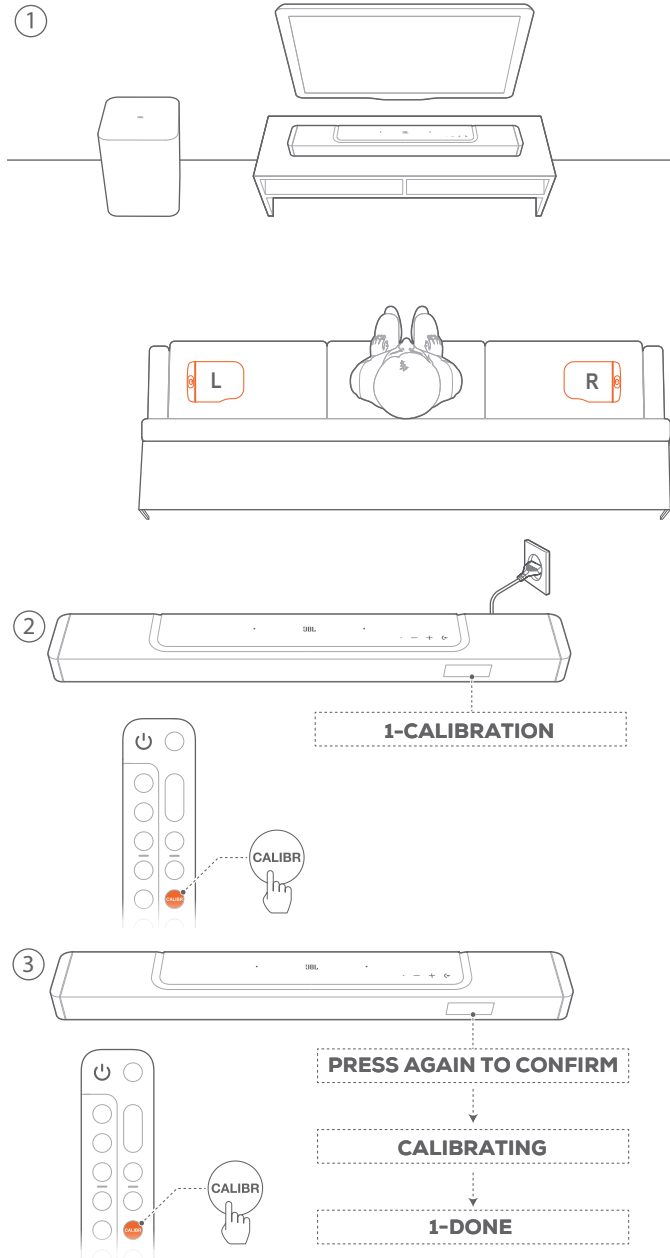
リスニング環境に合わせて、3Dサラウンドサウンド体験を最適化できます。

サウンドキャリブレーションを行うには、以下の点を確認します：

- 部屋が静かであることを確認してください。
- サウンドバーと2台の脱着式リアスピーカーが互いに完全に見える状態であり、間に障害物がないことを確認してください。
- 左右のリアスピーカーは左側にLスピーカー、右側にRスピーカーが適切に設置されていることを確認してください。



1) リスニングゾーンを測定する



1. 座る位置のそばに脱着式リアスピーカーを設置します。
 - 2台の脱着式スピーカーがサウンドバーに接続されていることを確認してください(「6.1 脱着式リアスピーカーとサブウーファーを接続する」をお読みください)。
2. リモコンで、**CALIBR**を押してキャリブレーションを開始します。
 - サウンドバーに「1-CALIBRATION」と表示されます。
3. 「**PRESS AGAIN TO CONFIRM**」が表示されたら、再度**CALIBR**を押します。
 - 5から1までのカウントダウンが始まります。
 - 測定音が鳴り始めます。音場の測定が開始されます。「**CALIBRATING**」:キャリブレーションを実行中
「**1-DONE**」:リスニングゾーンのキャリブレーションが正しく完了しました。

2) スピーカーの位置を測定する



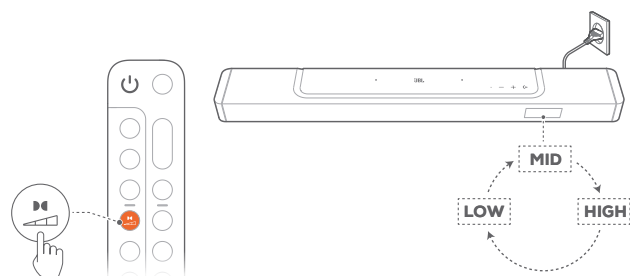
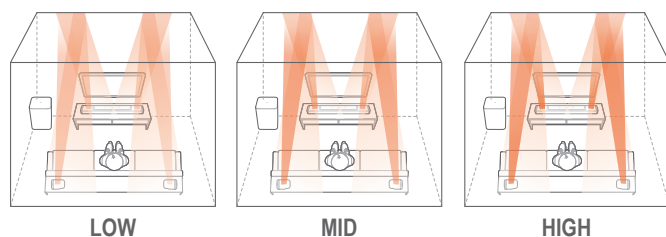
1. 好きな位置に脱着式リアスピーカーを設置します。
2. リモコンで、**CALIBR**を押します。
 - サウンドバーに「2-CALIBRATION」と表示されます。
 - 5から1までのカウントダウンが始まります。
 - 測定音が鳴り始めます。音場の測定が開始されます。「**CALIBRATING**」:キャリブレーションを実行中
「**2-DONE**」:スピーカー位置のキャリブレーションが正しく完了しました。

注:

- サウンドのキャリブレーション中、**u**と**CALIBR**以外のリモコンのボタンはすべて無効になります。

6.3.2 Dolby Atmos®/DTS:X®

ドルビーアトモスまたはDTS:Xでは、オーバーヘッドのオーディオがパワフルな3Dサウンドへの没入感を提供します。



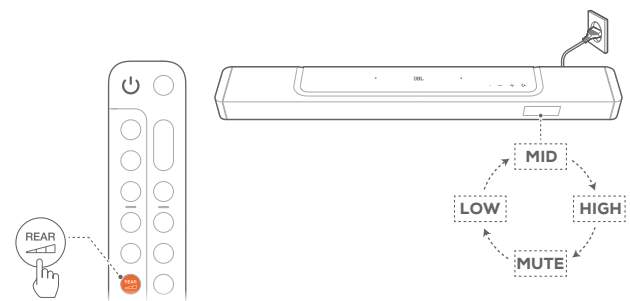
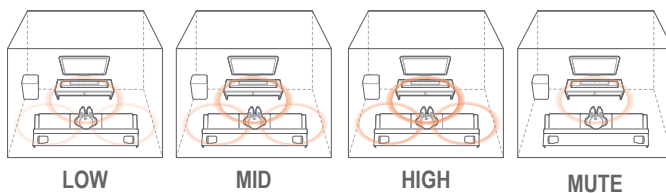
1. ドルビーアトモスまたはDTS:Xのサラウンドサウンドを再生するには、「5.1 TVおよびデジタルデバイスとの接続」で説明されているBlu-rayプレーヤーまたはストリーミングデバイスを接続して再生してください。
2. ドルビーアトモスまたはDTS:Xで適切な強度を選択するには、リモコンの **REAR** ボタンを押して中（デフォルト）、高または低を切り替えます。

注:

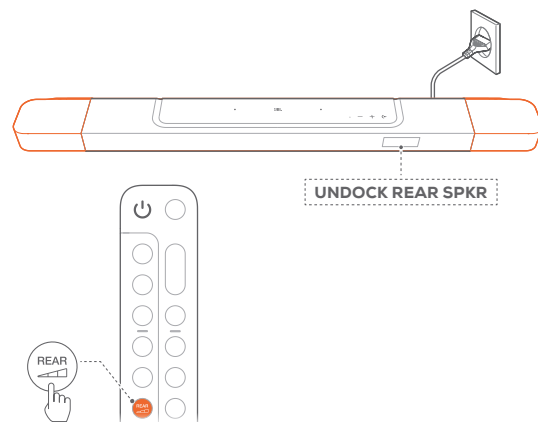
- アトモスまたはDTS:Xサウンドエフェクトは、それぞれドルビーまたはDTS:Xオーディオコンテンツ以外は使用できません。

6.3.3 リアスピーカーの調整

両方の脱着式リアスピーカーを取り外すと、サラウンドサウンドレベルを選択できます。

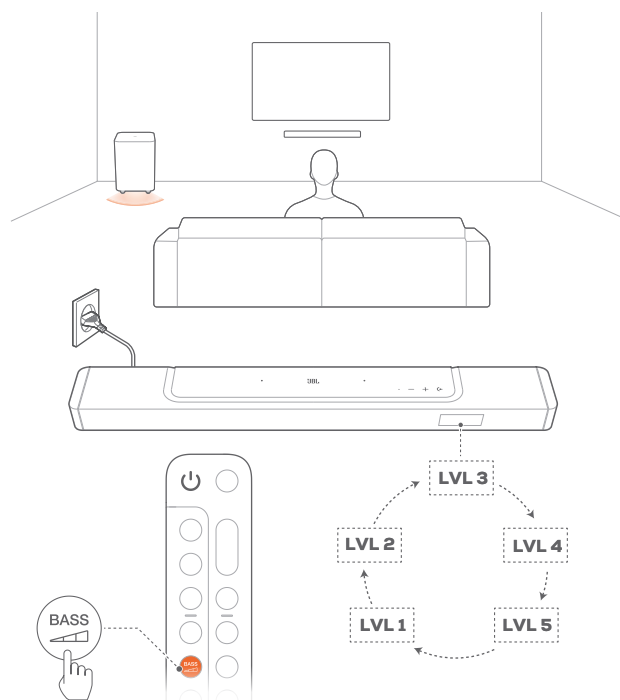


1. サウンドバーと脱着式リアスピーカーがワイヤレスで接続されていることを確認します（「6.1 脱着式リアスピーカーとサブウーファアを接続する」をお読みください）。
2. リモコンで、**REAR** を押してサラウンドサウンドレベルを切り替えます。
 - 「MID」/「HIGH」/「MUTE」/「LOW」が表示されます（デフォルト：「MID」）
 - 脱着式リアスピーカーがサウンドバーにドッキングされている場合、「UNDOCK REAR SPKR」と表示されます。



6.3.4 低音の調節

お好みで低音の調節を行うことができます。



- リモコンで、**BASS** を押して低音レベルを切り替えます。
 - 「LVL1」から「LVL5」が表示されます（デフォルト：「LVL3」）。

7. 再生

7.1 電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ



7.1.1 電源オン

- スイッチを入れるには、サウンドバーのいずれかのボタンを押すか、またはリモコンの ボタンを押します。
 - 「HELLO」が表示されます。
 - 自動的にサブウーファーがサウンドバーに再接続されます。**接続済み**: 白色で点灯します。
 - 自動的に脱着式スピーカーがサウンドバーに再接続されます。**接続済み**: ステータスインジケーターが白色で点灯します()

7.1.2 オートスタンバイ

サウンドバーが10分以上作動しない場合、自動的にスタンバイモードに切り替わります。「STDBY」が表示されます。

- サブウーファーがスタンバイモードに入ると、 が赤色で点灯します。
- 脱着式スピーカーがスタンバイ状態に切り替わり、ワイヤレス接続状態のためにステータスインジケーターがオフになります。
- 次の使用時にサウンドバーの電源を入れると、最後に選択されたソースに戻ります。

注:

- 脱着式スピーカーで、 ボタンを3秒以上長押しすると電源が切れます。再度 ボタンを押すとサウンドバーに再接続します。

7.1.3 オートウェイクアップ

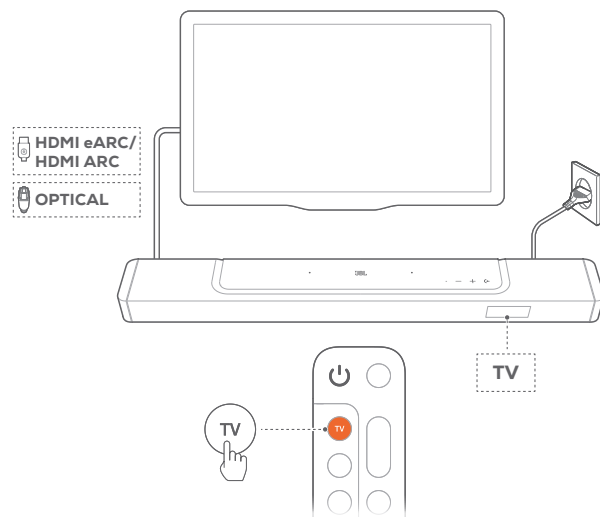
サウンドバーは下記の場合に自動的にスタンバイモードから復帰します

- サウンドバーがHDMI ARCでTVと接続されている場合は、TVの電源が入った時、
- サウンドバーがHDMI ARC接続、HDMI接続を通してTVに接続されていれば、セットトップボックス、DVD/Blu-rayプレーヤー、ゲーム機のようなデジタルデバイスにも接続されます。また、デジタルデバイスの電源が入ると、

- サウンドバーがホームネットワークに接続され、JBLOneアプリ、Chromecast built-in、AirPlayまたはAlexaでの音楽ストリーミングサービスを通してサウンドバーにオーディオがストリーミングされます。

7.2 TVソースからの再生

TVの音声を接続したサウンドバーのスピーカーで楽しむことができます。



- TVが外部スピーカーに対応するように設定されていて、TVに内蔵されているスピーカーがミュート状態になっていることを確認してください。詳細についてはTVの取扱説明書を参照してください。
- サウンドバーがTVに正しく接続されていることを確認してください(「[5.1 TVおよびデジタルデバイスとの接続](#)」をお読みください)。
- TVソースを選択するには、サウンドバーの ボタン、またはリモコンのTVボタンを押してください。
 - 「TV」: TVソースが選択されました。
 - 工場出荷時設定では、デフォルトでTVソースが選択されています。

注:

- TVとサウンドバーがHDMIと光デジタルの両方のケーブルで接続されている場合は、HDMIケーブルでの接続が選択されます。

7.2.1 TVリモコンの設定

TVとサウンドバーの両方をTVリモコンで操作するには、TVがHDMI-CECに対応していることを確認してください。TVがHDMI-CECに対応していない場合は、「[TVリモコンのIRラーニング](#)」の手順に従ってください。

HDMI-CEC

TVがHDMI-CECに対応している場合は、TVの取扱説明書に記載されている機能を使用できます。TVのリモコンで、サウンドバーの音量の+/-、ミュート/ミュート解除、電源オン/スタンバイ機能を操作できます。

TVリモコンのIRラーニング

赤外線コマンド学習機能を使って、赤外線信号を使用しているTVのリモコンのいくつかの操作をサウンドバーに学習・対応させることができます。

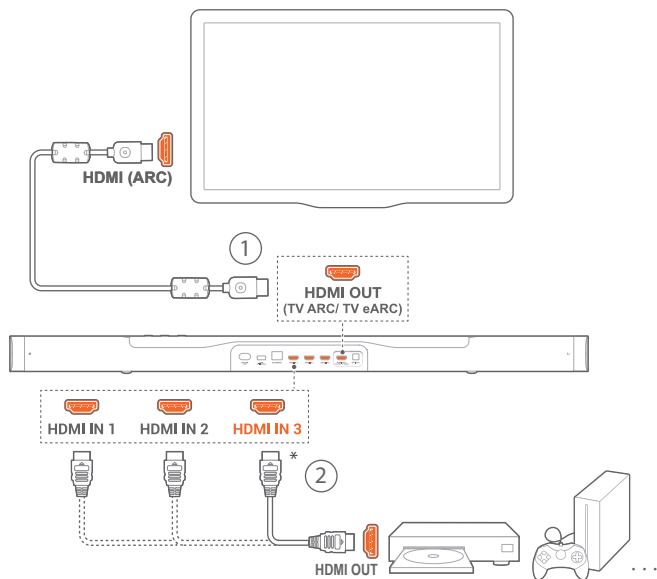
1. サウンドバーで、「LEARNING」と表示されるまで **←** と **+** ボタンを長押ししてください。
→ TVのリモコンコマンド学習モードに入ります。
2. TVリモコンをサウンドバーに向けてください。画面の指示に従ってTVリモコンのボタンを操作してください：
 - サウンドバーに「POWER」、「VOL+」、「VOL-」または「MUTE」のいずれかが表示されたら、TVリモコンのお好きなボタンを押します。
→ 「DONE」:TVリモコンの操作ボタンがサウンドバーボタンの機能を学習します。
→ サウンドバーは最後に選択されたソースに戻ります。
 - TVリモコンラーニングモードを中止および終了するには、「EXIT LEARNING」が表示されるまでサウンドバーの **←** と **+** ボタンを長押しします。
→ 学習された機能は破棄されます。

注:

- 30秒間操作しない場合、サウンドバーは自動的にTVリモコンラーニングモードを終了します。学習された機能は破棄されます。

7.3 HDMI INソースからの再生

下図のようにサウンドバーを接続すると、デジタルデバイスの映像をTVで出力し音声をサウンドバーから出力して再生することが可能です。



1. サウンドバーがTVとデジタルデバイスに正しく接続されていることを確認してください(「[5.1 TVおよびデジタルデバイスとの接続](#)」をお読みください)。

2. デジタルデバイスの電源を入れてください。

- TVとサウンドバーがスタンバイモードから復帰し、自動的に入力ソースを切り替えます。
 - サウンドバーのHDMI INソースを選択するには、サウンドバーの **←** ボタン、またはリモコンのHDMIボタンで切り替えます。

3. TVがスタンバイモードに切り替わります。

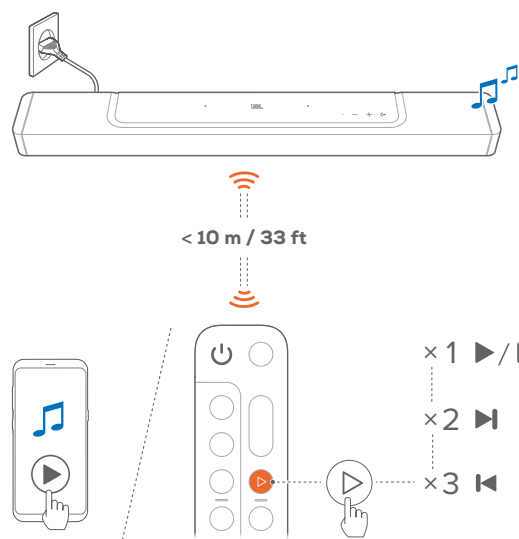
- サウンドバーとソースデバイスがスタンバイモードに切り替わります。

注:

- HDMI-CECデバイスへの完全対応は保証できません。

7.4 Bluetoothソースからの再生

Bluetoothを使って、Bluetooth対応デバイスからサウンドバーに音楽をストリーミング再生します。



1. サウンドバーがBluetooth対応デバイスに正しく接続されていることを確認してください(「[5.2 Bluetooth接続](#)」をお読みください)。
2. Bluetoothソースを選択するには、サウンドバーの **←** ボタン、またはリモコンの **✳** ボタンを押してください。
3. Bluetooth対応デバイスで音楽再生を開始します。
 - または、リモコンの **▶** ボタンを押すと再生します。
4. サウンドバー、TVのリモコンまたはBluetooth対応デバイスの音量を調節します。

7.5 JBL Oneアプリを通じた再生

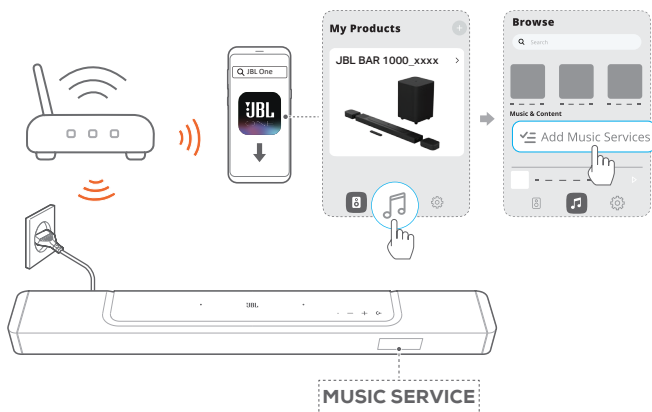
JBL Oneアプリを通して、オンラインの音楽配信サービスからサウンドバーにオーディオをストリーミングします。

1. サウンドバー側

- サウンドバーがホームネットワークに正しく接続されていることを確認してください(「[5.3 ホームネットワークとの接続](#)」をお読みください)。

2. AndroidまたはiOSデバイス側

- a) AndroidまたはiOSデバイスがサウンドバーと同一のネットワークに接続されていることを確認してください。
- b) JBL Oneアプリを起動し、利用可能な*音楽ストリーミングサービスをブラウザして音楽を選択し、次に接続されているサウンドバーへの音楽ストリーミングを開始します。
 - 検索ボックスを使い、利用可能な音楽配信サービスの一体型音楽ライブラリで音楽を探します。



3. 音楽再生を終了するには、他のソースに切り換えてください。

注:

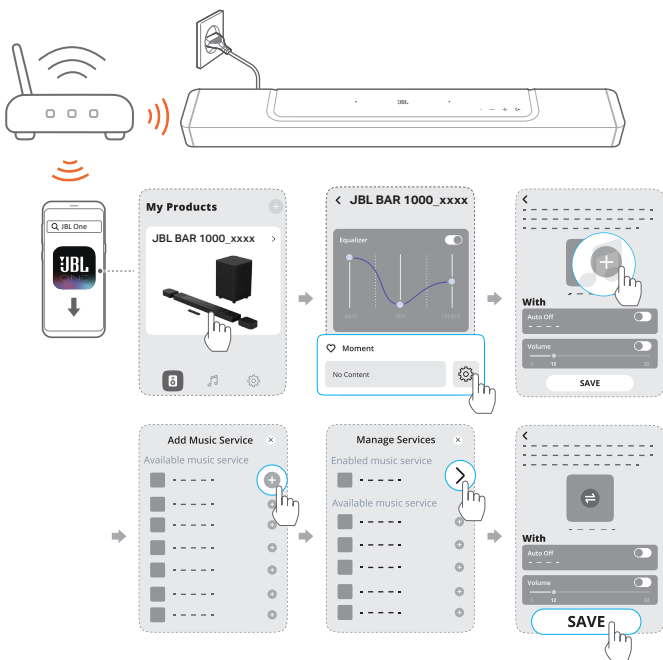
- *サブスクリプションが必要な場合があります、JBL Oneアプリではこのサービスは提供していません。

♡(Moment) ボタンでプリセットにアクセスする

リモコンの♡ボタンを押すと、JBL Oneアプリでカスタマイズしたプレイリストとスピーカー設定にアクセスすることができます。

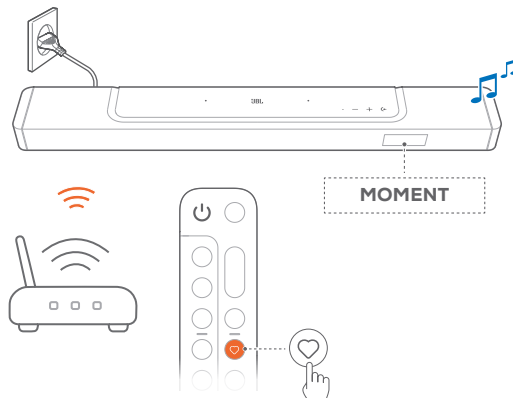
1. JBL Oneアプリ側

- ♡(Moment) 機能をカスタマイズ。



2. サウンドバー側

- リモコンの♡ボタンを押して、カスタマイズしたプレイリストとスピーカー設定にアクセスします。



7.6 Chromecast built-inを通じた再生

Chromecast built-inを使って、AndroidまたはiOSデバイスからサウンドバーに音楽をストリーミングします。


1. サウンドバー側

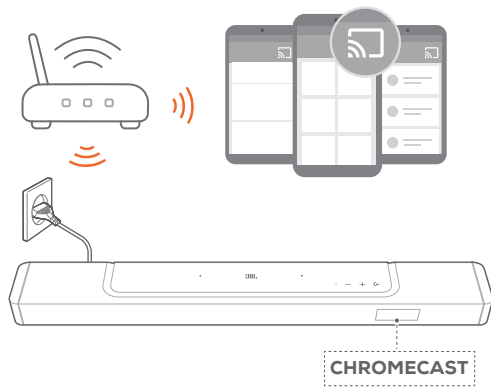
- サウンドバーがホームネットワークに正しく接続されていることを確認してください(「5.3 ホームネットワークとの接続」をお読みください)。

2. AndroidまたはiOSデバイス側

- a) AndroidまたはiOSデバイスがサウンドバーと同一のネットワークに接続されていることを確認してください。
- b) JBL Oneアプリを起動して、Chromecast built-inのストリーミングサービスに対応していることを確認します。




- c) Chromecast対応アプリで音楽を再生し、キャストアイコンをタップし、接続されたサウンドバーを選択します。

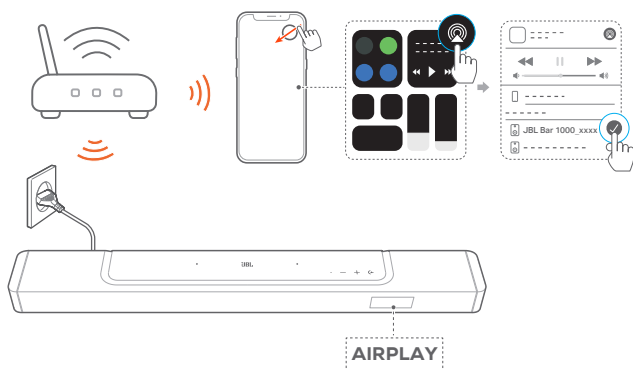


3. 音楽再生を終了するには、他のソースに切り換えてください。

7.7 AirPlayを通じた再生

AirPlayを使って、iOSデバイスからサウンドバーに音楽をストリーミングします。

1. サウンドバー側
 - サウンドバーがホームネットワークに正しく接続されていることを確認してください(「[5.3 ホームネットワークとの接続](#)」をお読みください)。
2. iOSデバイス側
 - a) iOSデバイスがサウンドバーと同一のネットワークに接続されていることを確認してください。
 - b) iOSデバイスのコントロールセンターに入るには、画面右上隅から下にスワイプします。をタップして接続されたサウンドバーを選択し、アプリからオーディオストリーミングを開始します。



3. 音楽再生を終了するには、他のソースに切り換えてください。

7.8 Amazon Musicを通じた再生

サウンドバーをAlexaに接続すると、Amazon Musicライブラリからサウンドバーに音楽をストリーミングすることができます。

1. サウンドバーがホームネットワークに正しく接続されていることを確認してください(「[5.3 ホームネットワークとの接続](#)」をお読みください)。

2. AndroidまたはiOSデバイス側

- a) AndroidまたはiOSデバイスがサウンドバーと同一のネットワークに接続されていることを確認してください。
- b) JBL Oneアプリを起動して、Amazon Alexaのストリーミングサービスに対応していることを確認します。



3. Amazon Alexaアプリを起動して音楽再生を開始してください。



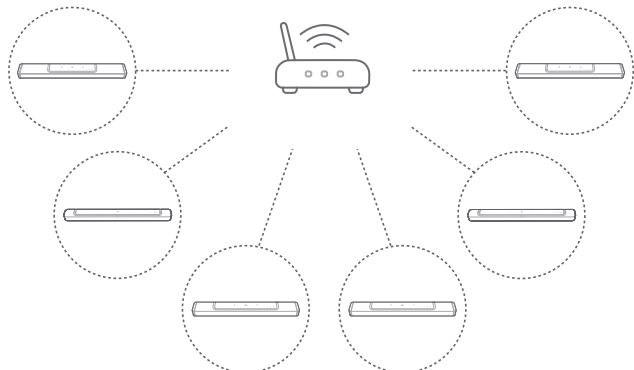
- Amazon Musicアプリを開いてAmazon Musicライブラリにアクセスしてください。
- JBL Oneアプリに対応した、同一のAlexaアカウントから音楽再生を開始していることを確認してください。詳細については、Amazon Alexaアプリを参照してください。

注:

- サウンドバーは、オーディオストリーミングには対応していますが、動画のストリーミングには対応していません。
- Chromecast built-in、AirPlayまたはAlexaの再生中、2番目に接続したデバイスで音楽再生を開始すると、現在接続されているデバイスの音楽再生が一時停止します。
- AirPlayの使用中にサウンドバーでWi-Fiホームネットワークと有線ネットワークを切り換えると、ブロードバンドの帯域幅の状態に応じて音楽再生が一時停止し、数分で再開します。有線のホームネットワークに接続するには、「[5.3 ホームネットワークとの接続](#)」をお読みください。

7.9 マルチルーム再生

マルチルーム再生により、AndroidまたはiOSデバイス上で複数のChromecast対応/AirPlay/Alexaスピーカーに音楽をストリーミングすることができます。



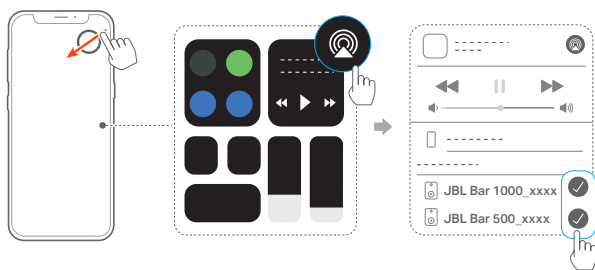
7.9.1 Chromecast built-in

1. Google Homeアプリから、複数のChromecast対応スピーカーを同一のネットワークに接続し、複数の部屋に割り当て、必要な場合はグループを作成してください。
2. スマートフォンまたはタブレットでChromecast対応アプリを起動してください。
3. 音楽を再生します。📶を押して、グループ化されたスピーカーを選択します。

注:

- Google Homeアプリでマルチルームスピーカーグループを作成するには、すべてのスピーカーを同じホームネットワークに接続しており、同じGoogleログインアカウントを使用していることを確認してください。詳細については、Google Homeアプリを参照してください。
- ローカルネットワークの帯域幅に応じて、最高6台のChromecast対応スピーカーに音楽をストリーミングすることができます。

7.9.2 AirPlay



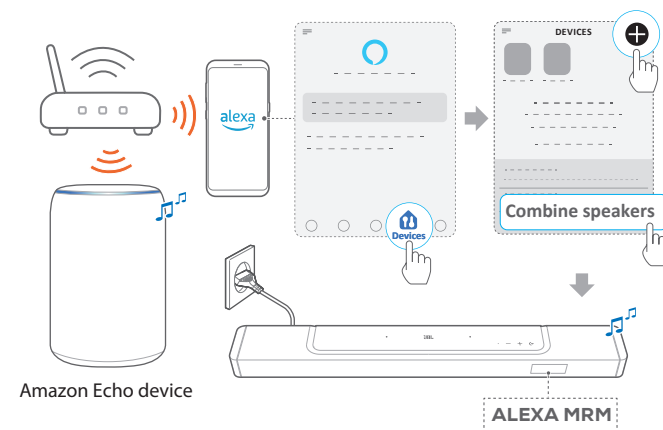
1. iOSデバイスでコントロールセンターに入ります。
2. 📶 をタップし、必要に応じて複数の接続済みのスピーカーを選択してください。
3. アプリで音楽ストリーミングを開始します。

7.9.3 Alexa MRM: マルチルームミュージック

1. JBL Oneアプリを通し、サウンドバー上でAmazon Alexaのストリーミングサービスに対応していることを確認します。



2. Amazon Alexaアプリで、サウンドバー用のマルチルームミュージックグループを作成してください。詳細については、Amazon Alexaアプリを参照してください。



注:

- Amazon Alexaアプリでマルチルームミュージックグループを作成するには、すべてのデバイスを同じホームネットワークに接続しており、同じAlexaログインアカウントを使用していることを確認してください。詳細については、Amazon Alexaアプリを参照してください。

8. サウンドの設定

8.1 オーディオシンク

ビデオコンテンツの動画とオーディオにズレを感じる場合は、オーディオシンク機能により調整ができます。

1. リモコンで、TVボタンを3秒以上長押しして、次に **+** ボタンを押してください。
→ 「**SYNC**」が表示されます。
2. 5秒以内に、リモコンの **+** または **-** ボタンを押してオーディオの遅延を調節し、映像に合わせます。
→ オーディオシンクのタイミングが表示されます。


8.2 スマートモード

本機は、サウンドエフェクトにより深みのある音声でTV番組を楽しむスマートモードがデフォルトで設定されています。ニュースや天気予報といったサウンドエフェクトを必要としない番組では、スタンダードモードに切り換えてサウンドエフェクトを低減することで、より声が聞き取りやすくなるように変更することもできます。

スマートモード: サウンドエフェクトに深みを持たせるため、EQとJBLサラウンドサウンドを使用します。

スタンダードモード: スタンダードなサウンドエフェクトには、プリセットEQを使用します。

スマートモードを無効にするには、以下の手順に従ってください：



- リモコンで、 ボタンを3秒以上長押しして、次に **+** ボタンを押してください。
→ 別のモードに切り換えます。「**OFF SMART MODE**」：スタンダードモードが有効になります。
→ 次の使用時にサウンドバーの電源を入れると、スマートモードは**再度、自動的に有効**になります。

8.3 PureVoiceダイアログエンハンスメントテクノロジー

PureVoiceダイアログエンハンスメントテクノロジーを利用すると、PureVoiceはボーカルの透明感を向上させ、会話を聞き取りやすくします。


デフォルトでは、PureVoiceはTV/ HDMI INソースから映画を再生する場合に有効になります。そして、Bluetooth、Chromecast built-in、Alexa、AirPlayで音楽をストリーミングする場合、PureVoiceは無効になります。

PureVoiceモードを無効または有効にするには、

- リモコンで、 ボタンを5秒以上長押しして、次に  ボタンを押してください。
→ 「**ON PUREVOICE**」：PureVoiceが有効です。
→ 「**OFF PUREVOICE**」：PureVoiceが無効です。
→ 次の使用時にサウンドバーの電源を入れると、PureVoiceは**再度、自動的に有効**になります。

9. 工場出荷時設定への復元

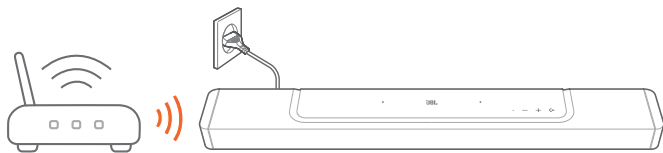
工場出荷時の初期設定に復元することにより、サウンドバーの個人的な設定は全て削除されます。

- サウンドバーで、、**+**と**-**ボタンを5秒以上長押ししてください。
→ 「**RESET**」が表示されます。
→ サウンドバーが再起動します。

10. ソフトウェアのアップデート

最適なパフォーマンスと最善の体験のため、今後サウンドバーのソフトウェアアップデートを提供する可能性があります。アップデートファイルのダウンロードに関する詳細については、www.jbl.comにアクセスするか、またはJBLコールセンターにご連絡ください。

オンラインでのアップデート

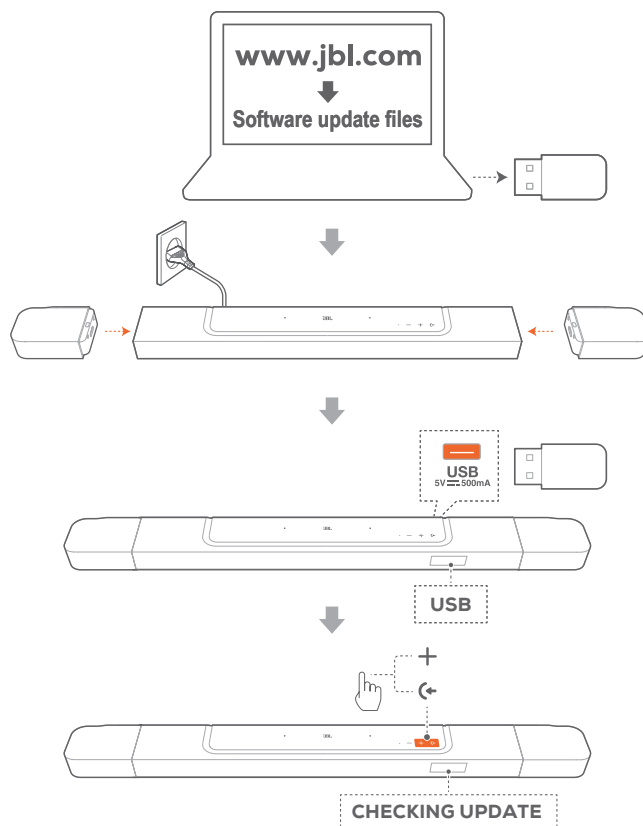


- サウンドバーをホームネットワークに接続してください。新しいソフトウェアのアップデートがある場合は、自動的にオンラインで行われます。
 - 「**WAIT**」：ソフトウェアのアップデートが進行中
 - 「**DONE**」：ソフトウェアアップデートの完了

注：

- ソフトウェアのアップデートは、2台の脱着式スピーカーがサウンドバーに接続またはドッキングされたとき、スピーカーに同期します。

USBストレージデバイスでのアップデート



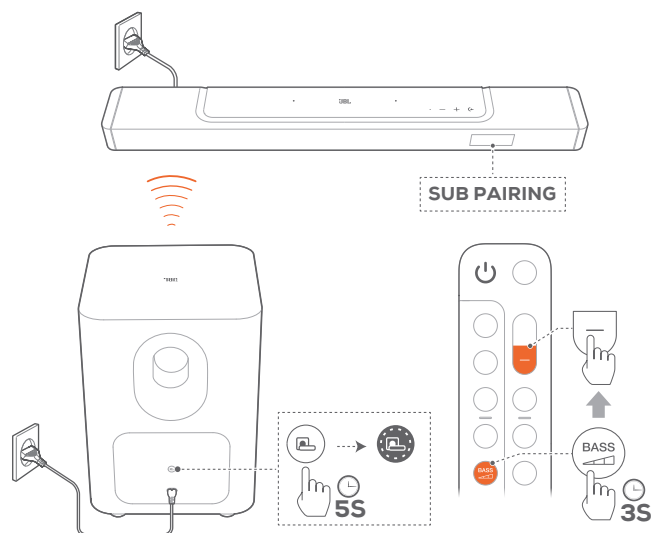
- USBストレージデバイスの最上階層のフォルダ(ルートディレクトリ)にソフトウェアアップデートファイルを保存したことを確認してください。
 - USBストレージデバイスが以下の条件に適合していることを確認してください：
 - 最大容量：64GB
 - ファイルシステム：FAT32
- USBデバイスを接続してください。
 - 「**USB**」：サウンドバーがUSBソースに切り替わります。
- ソフトウェアアップデートモードに入るには、サウンドバーの **←** と **+** ボタンを押します。
 - 「**CHECKING UPDATE**」が表示されます。
 - 「**WAIT**」：ソフトウェアのアップデートが進行中
 - 「**DONE**」：ソフトウェアアップデートの完了

注：




- サウンドバーの電源はオンのままにし、ソフトウェアアップデートが完了する前にUSBストレージデバイスを取り外さないでください。

11. サブウーファーの再接続



サウンドバーとサブウーファーは、工場出荷時にはペアリングされています。電源を入れると、自動的にペアリングされて接続されます。再度ペアリングしなければならない場合もあります。



サブウーファーのペアリングモードに再接続するには

1. サブウーファーの背面パネル上で、素早く白色で点滅するようになるまで  ボタンを長押ししてください。
2. サウンドバー上でサブウーファーのペアリングモードに入るには、リモコンの  ボタンを3秒以上長押ししてください。次に、リモコンの  ボタンを押してください。
 - 「SUB PAIRING」: サブウーファーはペアリングの準備ができています。
 - 「SUB PAIRED」: サブウーファーが接続されています。

注:

- ペアリングが完了しない場合、サブウーファーのペアリングモードは3分で解除され、スタンバイモードになります。  は白色で素早く点滅から、オフに変わります。ペアリングモードに戻るには、  ボタンを押します。

12. 製品の仕様

仕様

- モデル名: BAR1000 (サウンドバーユニット)
BAR1000 SURROUND (着脱可能リアスピーカー)
BAR1000 SUB (サブウーファーユニット)
- システム構成: 7.1.4 チャンネル
- 電源: 100-240V AC、~50/60Hz
- 総合出力 (最大@THD 1%): 880W
- サウンドバー出力 (最大@THD 1%): 440W
- サラウンドスピーカー出力 (最大@THD 1%): 2 x 70W
- サブウーファー出力 (最大@THD 1%): 300W
- サウンドバー部スピーカー構成: 46 x 90mm楕円形ドライバー x 5、20mmツイーター x 3、70mmアップファイアリングフルレンジドライバー x 2
- サラウンドスピーカー部スピーカー構成: 20mmツイーター、70mmアップファイアリングフルレンジドライバー
- サブウーファー部スピーカー: 260mm
- ネットワーク接続した状態でのスタンバイ時消費電力: 2.0W未満
- 動作保証温度: 0°C~45°C
- リチウム電池: 3.635V、3283mAh
- 着脱式サラウンドスピーカーの再生時間: 最大10時間 (コンテンツの内容や音量レベルによって異なる場合があります)

HDMI仕様

- HDMIビデオ入力: 3
- eARC対応HDMIビデオ出力: 1
- HDMI HDCPバージョン: 2.3
- HDRパススルー: HDR10、ドルビービジュン

オーディオ仕様

- 周波数特性: 33Hz-20kHz (-6dB)
- オーディオ入力: 光デジタル x 1、Bluetooth、USB (米国モデル以外は電力供給用のみ)

USB仕様

- USB端子: Type A
- USB定格: 5V DC、0.5A

ワイヤレス仕様

- Bluetoothバージョン: 5.0
- Bluetoothプロファイル: A2DP 1.2、AVRCP 1.5
- Bluetooth対応トランスミッター周波数帯域: 2400MHz-2483.5MHz
- Bluetooth対応トランスミッター出力: 15dBm未満 (EIRP)
- Wi-Fiネットワーク:
IEEE 802.11 a/b/g/n/ac/ax (2.4GHz/5GHz)
- 2.4G Wi-Fiトランスミッター周波数帯域:
2412-2472MHz (2.4GHz ISMバンド、米国11チャンネル、欧州とその他の地域13チャンネル)
- 2.4G Wi-Fiトランスミッター出力: 20dBm未満 (EIRP)
- 5G Wi-Fiトランスミッター周波数帯域:
5.15-5.35GHz、5.470-5.725GHz
- 5G Wi-Fiトランスミッター出力:
5.15-5.25GHz 23dBm未満、
5.25-5.35GHz&5.470-5.725GHz 20dBm未満
- 2.4G ワイヤレストランスミッター周波数帯域: 2406-2474MHz
- 2.4G ワイヤレストランスミッター出力: 10dBm未満 (EIRP)

外形寸法

- サラウンドスピーカー装着時サウンドバー寸法 (幅x高さx奥行) : 1194 x 56 x 125mm
- メインサウンドバー部のみの寸法 (幅x高さx奥行) : 884 x 56 x 125mm
- 着脱式サラウンドスピーカー寸法 (各個) (幅x高さx奥行) : 155 x 56 x 125mm
- サブウーファー寸法 (幅x高さx奥行) : 305 x 441 x 305mm
- サウンドバー重量: 約3.7kg
- 着脱式サラウンドスピーカー重量 (各個) : 約0.7kg
- サブウーファー重量: 約10kg
- 梱包寸法 (幅x高さx奥行) : 1000 x 375 x 475mm
- 梱包重量: 約19.4kg

13. トラブルシューティング

絶対に、ご自身で本製品を修理しようとししないでください。製品使用時に問題がある場合は、以下の点を確認してください。

システム

本機の電源が入らない。

- 電源コードが電源とサウンドバーに差し込まれているかどうか確認してください。

ボタンを押してもサウンドバーが反応しない。

- サウンドバーを工場出荷時設定に復元します ([「9. 工場出荷時設定への復元」](#)をお読みください)。

サウンド

サウンドバーから音が出ない。

- サウンドバーがミュート状態でないことを確認してください。
- リモコンで正しいオーディオ入力ソースを選択してください。
- サウンドバーをTVまたは他のデバイスに正しく接続してください
- サウンドバーを工場出荷時の設定に復元するには、サウンドバーの (←、+ と - ボタンを5秒以上長押しします)。

音が歪んでいる、エコーのように聞こえる

- TVのオーディオをサウンドバーで再生している場合は、TVがミュート状態になっていてTVのスピーカーから音声が出力されていないかを確認してください。

オーディオと動画が同期していない。

- オーディオシンク機能を有効にしてオーディオと動画を同期させてください ([「8.1 オーディオシンク」](#)をお読みください)。

ドルビーアトモスの高さ方向のサウンドエフェクトが感じられない

- TVがHDMI ARCのみに対応している場合、サウンドバーの **HDMI IN**端子を通してサウンドバーにデジタルデバイスが接続されていることを確認してください ([「5.1.1 TV \(HDMI ARC/eARC\)」](#)をお読みください)
- TV/HDMIソースから映画を再生している場合は、ドルビーアトモスのサウンドエフェクトを楽しむことができます。ドルビーアトモスはBluetoothまたはキャストリングアプリ (Chromecast built-in, AirPlayまたはAlexaに対応) のストリーミングには対応していません。

Bluetooth

サウンドバーにデバイスを接続できない。

- デバイスのBluetoothが有効になっているかどうか確認してください。
- サウンドバーが別のBluetooth対応デバイスとペアリングされていた場合は、Bluetoothをリセットしてください ([「5.2.3 別のBluetooth対応デバイスに接続するには」](#)をお読みください)。
- Bluetooth対応デバイスがサウンドバーとペアリングされていた場合、サウンドバーのBluetoothをリセットして、サウンドバーとBluetooth対応デバイスのペアリングを解除し、再度Bluetooth対応デバイスとサウンドバーをペアリングしてください ([「5.2.3 別のBluetooth対応デバイスに接続するには」](#)をお読みください)。

接続したBluetooth対応デバイスからのオーディオ品質が良くない。

- Bluetoothの受信状態が悪い可能性があります。ソースデバイスをサウンドバーに近づけるか、ソースデバイスとサウンドバーの間に何も置かないようにしてください。

Bluetooth対応デバイスとの接続が、切れたりつながったりする。

- Bluetoothの受信状態が悪い可能性があります。ソースデバイスをサウンドバーに近づけるか、ソースデバイスとサウンドバーの間に何も置かないようにしてください。

Wi-Fi

Wi-Fiへの接続に失敗した。

- Wi-Fiの電源が入っていることを確認してください。
- ネットワークの選択とパスワードの入力に間違いがないことを確認してください。
- ルーターまたはモデムの電源が入っていて、有効範囲内にあることを確認してください。
- ルーターの設定で、セキュリティタイプがWPA2 または自動に設定されていることを確認してください。
- サウンドバーがスマートフォンまたはタブレットと同一のワイヤレスLANに接続されていることを確認してください。
- Wi-Fiの設定が難しい場合、「SETUP WIFI」が表示されるまでサウンドバーの **+** と **-** ボタンを長押しします。

再生

AirPlayがサウンドバーを音楽ストリーミング用のAirPlayスピーカーとして見つけることはできません。

- Appleデバイスで、ソフトウェアを最新のバージョンにアップデートしてください:iOS 13.4以降、Mac OS 10.15.4以降またはTV OS 14.3。
- Appleデバイスがサウンドバーと同一のネットワークに接続されていることを確認してください。
- Windows用のiTunesをPCで作動させれば、Bluetoothを通してPCからサウンドバーに音楽をストリーミングすることができます。

BluetoothからChromecast built-in、AirPlay、Alexaまで、サウンドソースを切り換える際に音楽再生がスムーズに行えない。

- キャスティング・再生の音質はサウンドバーとスマートフォン、タブレット、そしてPCのような送信側機器が接続しているネットワークの混雑具合やカバー範囲によります。

BluetoothからTV/HDMI INへ、そして再度Bluetoothにサウンドソースを切り換える場合に音楽再生が再開しない。

- BluetoothからTV/HDMI INへとサウンドソースを切り換える際に、Bluetooth対応デバイスの音楽再生は停止します。ソースを切り換えてBluetoothソースに戻す場合、再度Bluetooth対応デバイスで音楽再生を開始してください。

Amazon Alexaアプリでサウンドバーが「オフライン」状態になっている、またはAlexa MRM関連の再生に問題が発生している。

- サウンドバーを元の状態に戻すには、5秒以上サウンドバーの **⏪**、**+** と **-** ボタンを長押しして、サウンドバーを工場出荷時の設定に復元します。

リモコン

リモコンが使えない。

- 電池の寿命が切れていないかどうかを確認してください。電池が寿命の場合は、新しい電池に取り替えてください。
- リモコンとサウンドバーとの距離を縮めたり、角度を変えたりしてみてください。

TVリモコンの学習に失敗した。

- TVのリモコンが赤外線方式のものかどうか確認してください。赤外線コマンド学習機能はBluetooth方式のTVリモコンには対応していません。

低電力スタンバイモード

サウンドバーは、脱着式スピーカーの充電が完了すると、低電力スタンバイモードに入ることにはできません。

- 低電力スタンバイモードに入るには、サウンドバーに「CEC 1」が表示されるまでリモコンの **⏪** ボタンを長押しします。次に、「CEC 2」が表示されるまで、再度リモコンの **⏪** ボタンを長押しします。
- 低電力スタンバイモードを終了するには、一度電源コードを抜いて、もう一度差し込みます。

14. 商標



The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by HARMAN International Industries, Incorporated is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.



The terms HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface, HDMI trade dress and the HDMI Logos are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing Administrator, Inc.



Wi-Fi CERTIFIED 6™ and the Wi-Fi CERTIFIED 6™ Logo are trademarks of Wi-Fi Alliance®.

COMPATIBLE WITH



Dolby, Dolby Vision, Dolby Atmos, and the double-D symbol are registered trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation. Manufactured under license from Dolby Laboratories. Confidential unpublished works. Copyright © 2012–2021 Dolby Laboratories. All rights reserved.



For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS, Inc. DTS, DTS:X, and the DTS:X logo are registered trademarks or trademarks of DTS, Inc. in the United States and other countries. © 2021 DTS, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.



Google, Android, Google Play and Chromecast built-in are trademarks of Google LLC.



Use of the Works with Apple badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple, and AirPlay are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

To control this AirPlay 2-enabled speaker, iOS 13.4 or later is required.



Amazon, Alexa, and all related marks are trademarks of Amazon.com, Inc. or its affiliates.



Use your phone, tablet or computer as a remote control for Spotify. Go to spotify.com/connect to learn how.

The Spotify Software is subject to third party licenses found here: <https://www.spotify.com/connect/third-party-licenses>.

15. オープンソースのライセンスに関する 注意

本製品はGPLの許可を得たオープンソースソフトウェアを内蔵しています。参考までに、ソースコードと関連する構築指示は https://harman-webpages.s3.amazonaws.com/JBL_BAR_Gen3_package_license_list.htmでも入手可能です。以下にお問い合わせください:

Harman Deutschland GmbH

HATT: Open Source, Gregor Krapf-Gunther,

Parkring 3 85748 Garching bei Munchen, Germany

または、製品のオープンソースソフトウェアに関する追加の質問がございましたら、OpenSourceSupport@Harman.comまでお問い合わせください。



HARMAN International Industries,
Incorporated 8500 Balboa Boulevard,
Northridge, CA 91329 USA
www.jbl.com

© 2022 HARMAN International Industries, Incorporated.

無断複写・転載を禁じます。

JBLは、HARMAN International Industries, Incorporatedの、米国および/またはその他の国々の商標です。特徴、仕様および外観は、予告なしに変更されることがあります。